

## 平成29年度（神奈川県立津久井高等学校）不祥事ゼロプログラム実施状況

## ○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止等）	法令遵守の意識を向上させ、公務外の非行を防止する。また、若手教員への指導を徹底する。	<p>○直近直後に転任者や新任者等を対象に教頭より服務等の研修を行い、周知徹底を行った。</p> <p>○毎日、始業前の打合せにおいて教頭より季節やその日の業務に合わせた「不祥事防止・事故防止」について職員全体に意識の啓発を行った。</p> <p>○新聞やインターネット・記者発表等での全国の教職員の事故不祥事に関係した記事を掲示し、注意喚起を行った。</p> <p>○日頃から報告・連絡・相談を怠らぬように周知した。</p> <p>○全職員を対象に面談を実施し、事故不祥事防止の徹底を図った。</p>
わいせつ・セクハラ行為の防止	何事にも疑義を持たれないようにする。職員の人権意識の向上を目指す。	<p>○人権研修会を実施し、セクハラは人権問題の一つであることを職員に意識させた。</p> <p>○定期的な事故防止会議の中で、初任者が「セクハラ」を取り上げ、セクハラに対する意識を高めた。</p> <p>○今後も継続的に注意喚起していくことが重要であり、人権意識をさらに高めていく必要がある。</p>
体罰、不適切な指導の防止	体罰や不適切な指導を未然に防止し、不適切な指導を根絶する。	○暴力行為だけでなく、生徒への高圧的な言動や不適切な言動は暴力行為に等しいとの認識を全職員で確認することができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルール・マナーを遵守し、違反者を出さない。交通事故ゼロを目指す。	<p>○自家用車を利用する職員が多いので、交通事故を自らの問題として常に意識することが重要である。</p> <p>○折にふれて注意喚起を行い、交通事故等の防止に努めた。</p> <p>○交通事故の防止に関して継続して取り組む必要がある。</p>
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正管理により、流失事故等を未然に防止する。	<p>○安易に個人情報を含んだ書類を持ち出してはいけないという意識を持つと共に、職場内でも個人情報の管理を徹底しなければならないことを指導した結果、個人情報の流出を防ぐことができた。</p> <p>○個人情報の流出がどのような影響が起こるかを理解し、個人情報の適正な管理を行うことができた。</p> <p>○情報収集は必要最小限とし、利用にあたっては目的外利用を行わないことを徹底した。</p> <p>○今後も個人情報についての理解を深めることが重要である。</p> <p>○サーバーの利用規定についてはさらに職員に周知する必要がある。</p>

成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理や通知表・調査書等の作成業務等における事故ゼロを目指す。	<p>○定期テストや成績処理等のさまざまな機会を捉えて、注意喚起を行うことにより、事故防止意識をもって業務を遂行することができた。</p> <p>○「科目別成績処理シート」作成について周知し、点検体制の見直しについても指導した。今後も成績処理等における事故防止に向けて、さらに意識を高める取組みを行う。</p> <p>○各グループで定期的に行うことで自らの問題として捉えることができた。</p>
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）の徹底	業務執行上の事故を未然に防止する。	<p>○複数によるチェック体制は定着してきたが、点検の重要性をあらためて認識し、その精度をさらに高める必要がある。</p> <p>○事故防止会議においてグループを作り、事故や不祥事のヒヤリハットの事例をお互いに出し合うことで、事故不祥事を自分のこととして捉えることができ、事故不祥事防止に対しての意識の醸成が行えた。</p>
会計事務等の適正執行	不適正な会計処理をしない。私費・県費の会計処理をルールに則り適正に執行する。	<p>○年度当初に行われた会計処理に関する説明会により、基本知識を確認することにより、適切な会計処理の重要性に関する認識を深めることができた。</p> <p>○月締めで各会計の出納簿を確認することで確実な監査が行えた。</p> <p>○会計担当者だけでなく、すべての教職員が適正な会計処理について理解する必要がある。</p>
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜における事故ゼロを目指す。	<p>○関係部署が情報を共有し、緊密に連携しながら業務を遂行した。</p> <p>○入学者選抜に係る業務においては、昨年度の課題等を検証し、改善に努めた。各作業の直前に注意点を確認する機会を設け、注意事項を徹底した。その結果、円滑な業務遂行と公表選抜基準に則った選抜を行うことができた。</p> <p>○次年度の入学者選抜でも絶対に採点ミスを行わないなど、再度職員全体に意識させる必要がある。</p>

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

日常の声かけや事故防止の研修により、平成29年度の目標はおおむね達成することができた。平成30年度も引継ぎ事項の徹底や点検体制の確認、又、日常の声かけや研修の機会を通じて事故・不祥事のないよう取り組んでいく。いずれの項目も大切だが、特に、進路関係書類の作成、発行などの業務では、書類を渡す期限も含めて複数把握し完了させる必要があるため、情報共有の仕組みについて更に工夫しながら取り組みを徹底していく。